

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する教育課程
教科等名	国語	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	111 単位時間
年間指導目標	(知)言葉の意味と表現方法を知り、日常で使うことができる語彙を増やす。 (思)登場人物の心情の推察などを通し、他者の気持ちへの興味・関心を高める。 (学) 自分の思いや考えを、言葉や文で表そうとする気持ちを高める。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教師:出口 睦貴 山本 康平 CG:曾根 浩美				
使用教科書	五味太郎言葉図鑑6 暮らしのことば(偕成社) にほんごだいすき1-ワークブッカー(むぎ書房)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標(評価の観点) (知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	物語に親しもう 表現を工夫しよう 音読 課題別学習	10	○物語を読み、語彙を広げる。 ○場面や状況による表現方法を考える。 ○言葉とイラストのマッチング、プリント学習、平仮名の書き、漢字の読み ◆登場人物の気持ちを推察することができる。	(知)物語を読み、語彙を増やすおうとする。 (思)語彙の表現方法を考えるおうとする。 (思)登場人物の気持ちを推察するおうとする。 (主)読んだり書いたりする楽しみをあげようとする。
	5				
	6				
	7				
二学期	9	物語に親しもう 表現を工夫しよう 手紙 課題別学習	11	○物語を読み、語彙を広げる。 ○場面や状況による表現方法を考える。 ○他者の気持ちを考えて手紙を書く。 ○言葉とイラストのマッチング、プリント学習、平仮名の書き、漢字の読み ◆語彙の表現方法を考えることができる。	(知)物語を読み、語彙を増やすおうとする。 (思)語彙の表現方法を考えるおうとする。 (思)登場人物の気持ちを推察するおうとする。 (主)読んだり書いたりする楽しみをあげようとする。
	10前半				

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
二期 期	10 後半	物語に親しもう 表現を工夫しよう 手紙 課題別学習	5	○物語を読み、語彙を広げる。 ○場面や状況による表現方法を考える。 ○他者の気持ちを考えて手紙を書く。 ○言葉とイラストのマッチング、プリント学習、平仮名の書き、漢字の読み ◆語彙の表現方法を考えることができる。	(知) 物語を読み、語彙を増やすおうとする。 (思) 語彙の表現方法を考えるおうとする。 (思) 登場人物の気持ちを推察するおうとする。 (主) 読んだり書いたりする楽しみを味わおうとする。
	11		9		
	12		10		
三期 期	1	文を読もう 表現を工夫しよう 書き初め 課題別学習	9	○文を読み、語彙を広げる。 ○場面や状況による表現方法を考える。 ○書道 ○言葉とイラストのマッチング、プリント学習、平仮名の書き、漢字の読み ◆自分の名前や好きな言葉を、毛筆で書くことができる。	(知) 文を読み、語彙を増やすおうとする。 (思) 語彙の表現方法を考えるおうとする。 (知) 自分の名前や好きな言葉を、毛筆で書くおうとする。 (主) 読んだり書いたりする楽しみを味わおうとする。
	2		9		
	3		10		
その他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> ・擬音、比喻など興味を引く表現のある本や、身近で分かりやすい心情を扱う本を選ぶ。 ・理解した語彙を表現し、使い方を確認する機会を設定する。 ・生活に則した言葉として使えるよう、他の教科や生活単元学習の内容と関連付ける。 ・個別と集団の両方の学習形態で進める。 		

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する教育課程
教科等名	数学	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	106 単位時間
年間指導目標	(知)数量や図形についての基礎的な概念を理解する。 (思)基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気づき、数学的な表現を用いて表現する力の素地を養う。 (学)数学的活動の楽しさや数学の良さに気づき、自ら生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教師:出口 睦貴 山本 康平 CG:曾根 浩美				
使用教科書	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」④(同成社)				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	数、計算 時刻と時間 課題別学習(訪問)	9	○弁別、集合数、順序数 ○時間と時刻 ○数、一対一対応、計算、形 ◆生活に関する基本的な数量を理解する。	(知)特徴に気づき数を理解できる。 (思)分け方や並べ方を考えて、自分の考えを簡単に表す。 (主)分類や順序づけの活動に意欲的に取り組む。
	5	数、計算 時刻と時間 課題別学習(訪問)	10	○弁別、集合数、順序数 ○時間と時刻 ○数、一対一対応、計算、形 ◆生活に関する基本的な時間を判断できる。	(知)生活の流れや時刻の基礎的な読み方を理解する。 (思)時間の手がかりを使って次の行動を考える。 (主)時間を意識し、自分から行動しようとする。
	6	数、計算 時刻と時間 課題別学習(訪問)	11	○時間と時刻 ○数、一対一対応、計算 ○形 ◆生活に関する基本的な時間を判断できる。	(知)数の大小や一対一対応、簡単な計算や形の基礎を理解する。 (思)場面に応じて数や形を使って判断し考えを表す。 (主)数や形の活動に根気強く取り組む
	7	数、計算 金銭 課題別学習(訪問)	4	○金銭・硬貨の種類、代金、おつり ○数、一対一対応、計算 ○形 ◆生活に関わる硬貨や金銭の数量を理解する。	(知)硬貨の種類や金額の読み方を理解し、代金とおつりの基本的な扱いを身につける。 (思)金銭について身の回りの生活と結び付けて考えることができる。 (主)金銭を扱う活動に意欲的に取り組み、自分から操作しようとする。
二学期	9	数、計算 金銭 課題別学習(訪問)	9	○金銭・硬貨の種類、代金、おつり ○数、一対一対応、計算 ○形 ◆生活に関わる硬貨や金銭の数量を理解する。	(知)硬貨の種類や金額の読み方を理解し、代金とおつりの基本的な扱いを身につける。 (思)金銭について身の回りの生活と結び付けて考えることができる。 (主)金銭を扱う活動に意欲的に取り組み、自分から操作しようとする。
	10前半	数、計算 長さ 課題別学習(訪問)	7	○長さ比べ ○数、一対一対応、計算 ○形 ◆生活に関する長さを判断できる。	(知)物の長さの違いに気づき、比べ方の基礎を理解する。 (思)どのように比べればよいかを考え、長さの関係を判断して表す。 (主)実物や道具を使った比較活動に意欲的に取り組む。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	数、計算 長さ 広さ 課題別学習（訪問）	7	○広さ比べ ○数、一対一対応、計算 ○形 ◆生活に関する広さを判断できる。	(知)面の広さの違いに気付き、広さを比べる基礎的な方法を理解する。 (思)どのように比べればよいかを考え、広さの関係を判断して表す。 (主)紙片や形を使った広さ比べの活動に意欲的に取り組む。
	11	数、計算 かさ 課題別学習（訪問）	22	○かさ比べ ○数、一対一対応、計算 ○形 ◆生活に関する形を判断できる。	(知)体験を通して入れ物のかさに注目し、かさを比べることができる。 (思)どのように比べればよいかを考え、かさの関係を判断して表す。 (主)水や容器を使ったかさ比べの活動に意欲的に取り組む。
	12				
三 学 期	1	数、計算 こよみ 課題別学習（訪問）	18	○月、日、曜日、年、カレンダー ○数、一対一対応、計算 ○形 ◆生活に関する月や曜日を判断できる。	(知)月や日、曜日、年の基本的な見方を理解する。 (思)予定や活動に合わせて、必要な日付や曜日を考え、カレンダーを使って判断する。 (主)日付や曜日の流れを理解して、生活に活用しようとする。
	2				
	3	数、計算 形の弁別 課題別学習（訪問）	9	○形の弁別、形の性質 ○数、一対一対応、計算 ◆生活に関する形を判断できる。	(知)身の回りの形の違いに気付き、基本的な形やその特徴を理解する。 (思)形の似ている点や異なる点を考え、形の性質を基に判断して表す。 (主)形を使った分類や操作活動に意欲的に取り組む。
そ の 他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> 生活に則した言葉として使えるよう、他の教科や生活単元学習の内容と関連付ける。 個別と集団の両方の学習形態で進める。 		

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する教育課程
教科等名	音楽	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	71 単位時間
年間指導目標	(知)曲や曲名の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付ける。 (思)音楽表現において表したい思いや意図をもち、音や音楽を味わいながら聴くことができる。 (学)すすんで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	田中 稔子 山本 康平 出口 睦貴				
使用教科書	音楽☆☆☆☆(東京書籍)				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	季節を感じて歌おう	6	○始まりの曲 終わりの曲 校歌 ◆音楽の授業の流れに見通しをもち主体的に参加しようとする。	(知) 楽器の音色や映像から、イメージをもち季節を感じ取る (思) 音楽を聴いてリズムを感じ受け止めて演奏を合わせようとする (主) 音楽の授業の流れに見通しをもち、主体的に参加しようとする。
	5		○季節の歌曲、文部省唱歌等の歌唱、鑑賞 ◆歌詞や映像から季節感を感じ、表現する。 ○打楽器の演奏(手指で直接触れる楽器) ◆楽器の音色を聴いたり、触れたりして、違いを知る。		
	6	音の違いを感じよう	9	○始まりの曲 終わりの曲 校歌 ◆音楽の授業の流れに見通しをもち主体的に参加しようとする。	(知) バチやマレットを使用し、複数の楽器を鳴らそうとする。 (思) 各楽器の名称が分かり、音の特徴を聴きとることができる。 (主) 音楽の授業の流れに見通しをもち、主体的に参加しようとする。
	7		○世界各国を代表する楽器の名称と、音色を知る。 ○打楽器の演奏(音色の違い4種の楽器) ◆楽器の音色を聴き比べたり、様々な奏法やリズムを知り、合奏曲の構造を知り、表現に活かす。		
二 学 期	9	合奏をしよう	7	○始まりの曲 終わりの曲 校歌 ◆音楽の授業の流れに見通しをもち主体的に参加しようとする。	(知) 各楽器の名称が分かり、音の特徴を聴きとることができる。 (思) ピアノ伴奏と友達の演奏に合わせ、タイミングよく演奏する。 (主) 音楽の授業の流れに見通しをもち、主体的に参加しようとする。
	10 前半		4	○打楽器の演奏、合奏 ◆自分の役割を知り、合奏に参加する。	

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	10 後 半	合奏をしよう	5	○打楽器の演奏、合奏 ◆自分の役割を知り、合奏に参加する。 ○季節の日本歌曲の歌唱、鑑賞 ◆歌詞や映像から季節感を感じ、表現する。	(知)各楽器の名称が分かり、音の特徴を聴きとることができる。 (思)ピアノ伴奏と友達の演奏に合わせ、タイミングよく演奏する。 (主)音楽の授業の流れに見通しをもち、主体的に参加しようとする。
	11	世界各国の音楽を演奏し よう、鑑賞しよう	6	○始まりの曲 終わりの曲 校歌 ◆音楽の授業の流れに見通しをもち主体的に参加しようとする。 ○世界各国の音楽を鑑賞する。	(知)パチやマレットを使用し、選択した音を鳴らそうとする。 (思)楽器の音色や映像から、世界各国の曲想を感じ取る。 (主)鑑賞した感想を友達や教師に伝える。
	12		8	○打楽器の演奏(複数の打楽器から選択する) ◆好きな音色の楽器を選択し様々な奏法やリズムを試す。	
三 学 期	1	日本の伝統音楽を演奏し よう、鑑賞しよう	6	○始まりの曲 終わりの曲 校歌 ◆音楽の授業の流れに見通しをもち主体的に参加しようとする。	(知)楽器の音色や映像から、日本の伝統的な音楽の特徴を感じ取る。 (思)和楽器の映像から演奏するイメージを膨らませ、鳴らそうとする。 (主)和楽器の音色や響きに興味をもち、主体的に活動に参加する。
	2		4	○日本の伝統音楽の鑑賞、和太鼓・箏の演奏 ◆日本の伝統的な曲や楽器の、世界観や音を感じる。 ○季節の日本歌曲の歌唱、鑑賞 ◆歌詞や映像から季節感を感じ、表現する。	
	3		6	○合唱曲(卒業ソング)の鑑賞、歌唱 ◆合唱曲の鑑賞や、歌唱を通して歌詞を味わい、卒業式へのイメージをもつ。	
そ の 他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・音色に合わせて映像も提示することで、季節を感じやすくする。 ・歌のイメージをもてるように、手話の動きを取り入れた手話歌に取り組む。 ・曲の終始が明確になるよう、簡潔な前奏と後奏をピアノで示す。 ・グループで繰り返し練習することで、自分の役割を整理して演奏する。 	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する教育課程
教科等名	美術	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	71 単位時間
年間指導目標	(知)造形的な視点に気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付ける。 (思)経験したことや思ったことを基として、発想、構想することともに、身近にある作品などから、自分の見方、考え方を広げることができる。 (学)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教師:出口 睦貴 山本 康平 CG:曾根 浩美				
使用教科書	やさしくおれるたのしいおりがみ(東京書店)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標(評価の観点)
					(知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	描いてみよう・作ってみよう	6	○様々な技法を使い、自己紹介カードを制作し発表する。 ◆自分の好きなものや特徴に目を向け、制作する。	(知)自分に合った技法を用いて、作品を制作することができる。 (思)自分の好きなものから表したいイメージを考え、制作できる。 (主)友達の作品を鑑賞し、良いところを発言することができる。
	5	体育発表会に向けて	9	○体育発表会に向けた装飾を制作する。 ◆体育発表会に向け、意欲的に共同制作に取り組む。	(知)自分に合った技法を用いて、制作に取り組むことができる。 (思)体育発表会の内容を基にイメージし、色や形の選び方を工夫できる。 (主)体育発表会に向け意欲的に制作に取り組むことができる。
	6	色彩の表現	7	○明度、彩度を意識したポスターを制作する。 ○万華鏡を作成し、万華鏡の世界をタブレット端末で撮影する。 ◆明度や彩度の変化からイメージを広げる。	(知)明度・彩度の違いに気付くことができる。 (思)明度や彩度の変化からイメージを広げ、ポスター全体の構成を考えられる。 (主)色の広がりや変化を楽しみながら、表現活動に取り組める。
	7	タブレット端末で絵を描こう	4	○タブレット端末のアプリケーションで作品を制作する。 ◆アプリケーションの基本的な操作を理解し、線や色を使って表現する。	(知)アプリケーションの基本的な操作を理解し、線や色を使って表現できる。 (思)季節やモチーフを基に発想を広げ、作品を工夫できる。 (主)アプリケーションを使用した作品制作に主体的に取り組む。
二 学 期	9	虹輝祭に向けての制作形の表現 (訪問)	9	○虹輝祭に向けた作品や装飾を制作する。 ○造形、道具を使った作品制作。 ◆作品の完成をイメージし、素材の配置や構成を工夫できる。	(知)素材の色・形・感触に気付き、道具の扱いを理解しながら制作できる。 (思)作品の完成をイメージし、素材の配置や構成を工夫できる。 (主)虹輝祭に向けて意欲的に制作に取り組むことができる。
	10 前半				

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	虹輝祭に向けての制作 形の表現 (訪問)	6	○虹輝祭に向けた作品や装飾を制作する。 ○造形、道具を使った作品制作。 ◆作品の完成をイメージし、素材の配置や構成を工夫できる。	(知)素材の色・形・感触に気付き、道具の扱いを理解しながら制作できる。 (思)作品の完成をイメージし、素材の配置や構成を工夫できる。 (主)虹輝祭に向けて意欲的に制作に取り組むことができる。
	11	虹輝祭に向けての制作 季節の飾り物	6	○虹輝祭に向けた作品や装飾を制作する。 ○季節の壁面装飾を行う。 ◆季節の素材に触れ、特徴を捉えながら道具や材料を扱う技能を身に付ける。	(知)季節の素材に触れ、特徴を捉えながら道具や材料を扱う技能を身に付ける。 (思)季節のイメージを基に、表したい形を考えて制作できる。 (主)季節の飾り物づくりに主体的に参加できる。
	12	タブレット端末で絵を描こう 季節の飾り物(秋)	6	○タブレット端末のアプリケーションで作品を制作する。 ○季節の壁面装飾を行う。 ◆秋の素材や色に触れ、色彩や形を知ることができる。	(知)秋の素材や色に触れ、色彩や形を知ることができる。 (思)秋のイメージを取り入れ、画面の構成や色の選択を工夫できる。 (主)季節の変化を感じながら、表現活動に進んで参加できる。
三 学 期	1	色々な技法で絵を描こう 季節の飾り物(冬・春)	12	○モダンテクニックの手法などを使い、模様作りや表現の広がりを知る。 ○季節の壁面装飾を行う。 ◆偶然生まれた模様からイメージを広げ、構成を工夫できる。	(知)モダンテクニックの技法に触れ、自分の得意な動きを生かして表現できる。 (思)偶然生まれた模様からイメージを広げ、構成を工夫できる。 (主)技法に興味をもち、試したり確かめたりしながら取り組む。
	2				
	3	色々な技法で絵を描こう 季節の飾り物(冬・春) 一年間のまとめ	6	○モダンテクニックの手法などを使い、模様作りや表現の広がりを知る。 ○季節の壁面装飾を行う。 ○一年間で制作した作品の鑑賞を行う。 ◆一年間で試した技法を振り返る。	(知)一年間で試した技法を振り返り、特徴を理解しながら選んで表現できる。 (思)作品を見比べ、良いところや工夫した点に気付く。 (主)友達と作品を鑑賞し、表現を楽しむ態度を育む。
そ の 他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じた素材や道具を使用する。 ・生徒が課題に取り組みやすい腕の角度、配置を工夫する。 ・制作前に実演を行い、見通しをもって取り組めるよう支援する。 ・必要に応じて教師が手を添え、素材の感触を味わいながら造形に取り組む。 	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する教育課程
教科等名	保健体育	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	72 単位時間
年間指導目標	(知)運動の楽しさや喜びに触れ、個々の特性に応じた動きで身体を動かす技能を身に付けている。				
	(思)自分やグループの課題を見付け、その解決に向けて自ら考え、それらを他者に伝えている。				
	(学)ルールを守り、友達と協力したり、安全に留意したりして、最後まで楽しく運動しようとしている。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教師:笠原 陸 山本 康平 出口 睦月				
使用教科書	こどものずかんMio(みお)⑨ひとのからだ(ひかりのくに)				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	身体づくり運動 陸上競技	6	○準備体操・ストレッチ ○走競技・投競技について ○体育発表会(練習・発表)	(知)陸上競技の基本的な動きやルールを理解し、体力に応じた走・投の技術を身に付ける。 (思)自分の課題を見つけ、その解決方法や目標を考えて取り組むことができる。
	5		6	◆体育発表会に向けて、自発的に取り組み記録に挑戦する。	(主)陸上競技に主体的に参加し、記録向上に向けて意欲的に取り組むことができる。
	6	身体づくり運動 水泳	12	○リズム体操・ストレッチ ○水慣れ・個別の泳法練習	(知)水泳の特性や行き方について理解し、障害の状態や特性に応じた適切な動きや泳法を身に付ける。 (思)自分の課題を見つけ、動きや泳ぎ方を工夫して取り組むことができる。 (主)水泳に意欲的に取り組み、きまりを守って仲間と協力して活動する。
7	7		◆水に慣れ親しみ、浮力や水の抵抗を感じて泳いだりリラックスしたりすることができる。		
二 学 期	9	身体づくり運動 水泳	7	○リズム体操・ストレッチ ○水慣れ・個別の泳法練習 ◆水に慣れ親しみ、浮力や水の抵抗を感じて泳いだりリラックスすることができる。	(知)水泳の特性や行き方について理解し、障害の状態や特性に応じた適切な動きや泳法を身に付ける。 (思)自分の課題を見つけ、動きや泳ぎ方を工夫して取り組むことができる。 (主)水泳に意欲的に取り組み、決まりを守って仲間と協力して活動する。
	10 前半	身体づくり運動 ティーボール (訪問)	2	○ラジオ体操・ストレッチ ○打撃練習 ○守備練習 ◆攻守を意識してゲームに取り組むことができる。	(知)基本的なルールやバットの正しい持ち方を理解し、ボールをバットで打つことができる。 (思)チームで攻守の課題に気づいて練習方法を工夫したり、作戦を考えたりしながら取り組むことができる。 (主)チームのルールを守り、仲間と協力して準備や片付け、ゲームに参加する。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	身体づくり運動 剣道	2	○リズム体操・ストレッチ ○礼儀作法と所作 ○剣道の知識 ○竹刀の握り方、打ち方	(知) 礼法、基本動作、基本的な技を理解し、安全に取り組むことができる。 (思) 自身の身体の特徴を理解し、身体の使い方を工夫しながら技を繰り出すことができる。 (主) 相手を尊重し、安全に配慮しながら、進んで稽古やルールを守る活動に取り組むことができる。
	11		5	◆日本の伝統・文化である武道を経験し、剣道の技術や礼儀作法を意識して取り組む。	
	12	身体づくり運動 ポッチャ	7	○リズム体操・ストレッチ ○個々の投球方法 ○戦術 ◆自分の投球方法を身に付けて、身体の動かし方を意識し投球することができる。	(知) ルールを理解し、目標に向かってボールを投げたり転がしたりする基本的な技能を身に付ける。 (思) ゲームの状況を把握し、どこに投げるべきかなどの作戦を考え、工夫したり他者に伝えたりすることができる。 (主) 進んで活動に参加し、仲間と協力して最後まで諦めずに運動を楽しむことができる。
三 学 期	1	身体づくり運動 ポッチャ ハンドサッカー (訪問)	4	○ダンス・ストレッチ ○校内ポッチャ大会 ○ハンドサッカーのルール ○パスやシュート方法	(知) ボールの扱い方や攻撃・守備の基本的な動き、ルールを理解して安全に取り組むことができる。 (思) パスやシュート方法を工夫したり、チームで作戦を考えたりすることができる。 (主) チームのルールを守り、準備や片付けに進んで取り組み、最後まであきらめずにゲームに参加しようとしている。
	2		7	○試合 ◆自分の課題を明確にして、課題達成に向けて取り組む。	
	3	身体づくり運動	7	○ダンス・ストレッチ ○ダンス発表 ◆身体全体を使い表現することができる。	(知) リズムの特徴やイメージをもって全身で動かして踊ることができる。 (思) 自分なりの動き方や、仲間との動きを工夫して取り組むことができる。 (主) 音楽やダンス活動に積極的に取り組み、仲間と一緒に踊る喜びや交流を楽しむ。
そ の 他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・個々に対して興味や意欲的に取り組める目標を設定する。 ・補助具を使用し、恐怖感や抵抗感を和らげる。 ・実態に応じて的となる対象物を見やすくしたり、傾斜台等を使用する。 ・感性を大切に、個々が表現したい動きの支援を行う。 ・支援方法を工夫し、主体的な動きを引き出す。 ・多くの身体部位を使う活動を設定する。 	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する教育課程
教科等名	職業・家庭	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	37 単位時間
年間指導目標	職業:(知)作業内容について関心をもち、将来の職業生活に係る知識や技能の基礎を身につける。 家庭:(知)生活の自立に必要な衣食住について基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能の基礎を身につける。 職業:(思)将来の職業生活に向け、課題や解決策に気付き、実践するなど、課題を解決する力の基礎を養う。 家庭:(思)家庭生活に必要な事柄について知り、課題や解決策に気付き、実践するなど、日常生活において課題を解決する力の基礎を養う。 職業:(学)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。 家庭:(学)よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。 (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教師:出口 陸貴 山本 康平 CG:曾根 浩美				
使用教科書	坂本廣子のひとりでクッキング① 朝ごはんをつくろう!(偕成社)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標(評価の観点) (知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	挨拶の仕方を知る	3	○場に応じた挨拶の仕方 ◆状況を判断して、適切に挨拶できる。	(知)場面に応じた適切な挨拶を理解し実践することができる。 (思)状況に合わせて挨拶の仕方を考え選ぶことができる。 (主)挨拶を通じて他者との関わりを大切にしようとする。
	5	快適な環境づくり	2	○身の周りの環境の整え方 ○環境設定の依頼方法 ◆状況を判断して、適切に依頼できる。	(知)身の回りを整え快適な環境を作る方法を知ることができる。 (知)適切な環境設定や依頼方法を考え実行することができる。 (主)自分や周囲が過ごしやすい環境づくりに意欲を持つ。
	6	衣服の洗濯・乾燥	8	○衣服やタオルをたたむ ○エプロンやタオルを干す ◆状況を判断して、適切に挨拶できる。 ◆手順表を見て正しく衣服を干せる。	(知)衣服の手入れや乾燥の仕方を知り、実践することができる。 (思)手順表を確認して、正しい方法で衣服を干せる。 (主)自分や周囲が過ごしやすい環境づくりに意欲を持つ。
	7				
二学期	9	挨拶を実践する	3	○場に応じた挨拶 ◆状況を判断して、適切に挨拶できる。	(知)場面に応じた適切な挨拶を理解し実践することができる。 (思)状況に合わせて挨拶の仕方を考え選ぶことができる。 (主)挨拶を通じて他者との関わりを大切にしようとする。
	10前半	事務作業	2	○コピー ○シュレッダー ◆コピーやシュレッダーの機器を安全に操作できる。	(知)コピーやシュレッダーの機器を正確に扱うことができる。 (知)様々な事務作業の仕方を習得し、実践することができる。 (主)安全に注意しながら作業に意欲的に取り組む態度を育む。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	10 後 半	事務作業	10	○コピー ○シュレッダー ○スタンプ ◆状況を判断して、適切に依頼できる。 ◆コピーやシュレッダーの機器を安全に操作できる。	(知) コピーやシュレッダーの機器を正確に扱うことができる。 (知) 様々な事務作業の仕方を習得し、実践することができる。 (主) 安全に注意しながら作業に意欲的に取り組む態度を育む。
	11				
	12				
三 学 期	1	衣服の洗濯・乾燥	2	○衣服やタオルをたたむ ○エプロンやタオルを干す ◆状況を判断して、適切に挨拶できる。 ◆手順表を見て正しく衣服を干せる。	(知) 衣服の手入れや乾燥の仕方を知り、実践することができる。 (思) 手順表を確認して、正しい方法で衣服を干せる。 (主) 自分や周囲が過ごしやすい環境づくりに意欲を持つ。
	2	清掃	7	○台拭き ○ダスタークロス掛け ○整理整頓 ○依頼に応じた事務作業 ◆状況を判断して、適切に挨拶できる。 ◆手順表を見て正しく清掃できる。	(知) 基本的な掃除の仕方を知ることができる。 (知) 依頼を理解し、適切な清掃方法を判断することができる。 (主) 頼まれた仕事を理解し、最後までやり遂げようとする。 (主) 依頼に応じ、達成感を味わう。
	3				
そ の 他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				・報告し、称賛される場面を設定し、達成感や意欲につながるようにする。 ・職業生活で使えるような、丁寧な言葉遣いを指導する。 ・生徒の実態に応じて教材を工夫し、生徒が主体的に活動に取り組むことができるようにする。 ・手順表を作成し、一人で見通しをもって取り組めるようにする。	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する教育課程
教科等名	外国語	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	36 単位時間
年間指導目標	(知)英語の音声やリズムに親しみ、挨拶や簡単な語句・基本的な表現を理解して言うことができる。 (思)活動の目的に応じて、必要な語句や表現を選んで気持ちを伝えることができる。 (学)周囲の友達と交流しながら、外国語や文化に親しみ、積極的に英語を言おうとする。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教師 飯田 拓、山本 康平、出口 睦貴 CG 曾根 浩美				
使用教科書	NewABC of ENGLISH単語編(三省堂)				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	Self-introduction 自己紹介をしよう	6	○英語での自己紹介(名前、年齢、好きな物等) ◆自己紹介の時に使う英語表現を覚え、自分のことを英語で言うことができる。	(知) 自己紹介に関する語句や表現を理解して言う。 (思) 自分のことが相手に伝わるように、語句や表現を選ぶ。 (主) 相手との挨拶や自己紹介を積極的に言おうとする。
	5				
	6	Let's go shopping 買い物に行こう	7	○お店でのお客と店員の会話 ◆お店で自分の買いたいものを伝えたり、店員役でお客に対応したりすることができる。	(知) 買い物の場面で使う表現を理解して言ったり、品物の名前を英語で言ったりする。 (思) 自分の買いたい物を選び、店員に英語で正しく伝える。 (主) 自分の好きな物を積極的に選んで、英語で伝えようとする。
7					
二学期	9	Let's sing a song in English 英語で歌を歌おう	4	○良く知っている歌について英語での表現を知り、英語で歌う。 ◆日本語と英語表現の違いを知り、関心をもつ。楽しんで英語の歌を歌う。	(知) 歌詞の英語表現を理解したり、正しい発音を知ったりする。 (思) 日本語での表現と英語での表現を比べることができる。 (主) 英語の歌を楽しみながら歌おうとする。
	10前半	Enjoy Halloween ハロウィンを楽しもう	1	○ハロウィンの映像を見る。ハロウィンで使われる表現や単語を知り、ハロウィンを演じて雰囲気を楽しむ。 ◆ハロウィンという行事を知ること、外国の文化を理解する。	(知) ハロウィンの時に言う表現や、使われる単語を知る。 (思) ハロウィンの行事の様子を知り、日本の行事と比べる。 (主) ハロウィンの行事を演じる活動に、楽しんで参加しようとする。

期	月	単元(題材)名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)
一 学 期	10 後 半	Enjoy Halloween ハロウィンを楽しもう	1	○ハロウィンの映像を見る。ハロウィンで使われる表現や単語を知り、ハロウィンを演じて雰囲気を楽しむ。 ◆ハロウィンという行事を知ること、外国の文化を理解する。	(知)ハロウィンの時に言う表現や、使われる単語を知る。 (思)ハロウィンの行事の様子を知り、日本の行事と比べる。 (主)ハロウィンの行事を演じる活動に、楽しんで参加しようとする。
	11	Let' play a drama① 劇をしよう	4	○日本の昔話の登場人物となって、英語でセリフを言ったり、他の登場人物と会話をしたりする。 ◆よく知っている昔話を英語で演じることで、英語のセリフと動作を結び付けて理解する。	(知)登場人物の言うセリフの意味を理解したり言ったりする。 (思)登場人物の気持ちを考えたり、感情をこめてセリフを言う。 (主)物語の登場人物になり、積極的に劇に参加しようとする。
	12	Making Greeting Cards グリーティングカードを作ろう	4	○カード作りの場面で、よく使われる英語の表現を書いたり、英語で挨拶を言ってカードを相手に渡したりする。 ◆カード作りを通して、英語表現を言ったり書いたりして、外国の文化に親しむ。	(知)カード作りで使う表現を知り、意味を理解する。 (思)自分の伝えたい気持ちに沿った表現を選ぶことができる。 (主)カード作りに意欲的に取り組んだり、相手に渡したりしようとする。
二 学 期	1	Let' play a drama② 劇をしよう	4	○日本の昔話の登場人物となって、英語でセリフを言ったり、他の登場人物と会話をしたりする。 ◆よく知っている昔話を英語で演じることで、英語のセリフと動作を結び付けて理解する。	(知)登場人物の言うセリフの意味を、理解したり言ったりする。 (思)登場人物の気持ちを考えたり、感情をこめてセリフを言う。 (主)物語の登場人物になり、積極的に劇に参加しようとする。
	2	Asking the way・Telling the way 道を尋ねよう、道案内をしよう	2	○英語で道を尋ねる。目的地までの行き方を英語で伝える。 ◆道を尋ねたり、教えたりする英語表現を理解して、尋ねたり教えたりすることができる。	(知)道を尋ねたり教えたりする表現を、理解したり言ったりする。 (思)適した表現を選び、目的地までの行き方を言う。 (主)道に迷っている人に、英語で積極的に道を伝えようとする。
	3	Let's play games ゲームをしよう	3	○色探しゲーム、形タッチゲーム、数字ビンゴゲームなどを行う。 ◆英語のゲームを通じて、ゲームの中で使われる指示の表現や言葉を理解して、ゲームを楽しむ。	(知)ゲームに出てくる単語(色、形、数字など)や表現を、理解したり言ったりすることができる。 (思)ゲーム中に見たり聞いたりした言葉を、カードで正しく選ぶことができる。 (主)英語を使ったゲームに積極的に参加しようとする。
そ の 他	通年		<ul style="list-style-type: none"> ・ALT(外国人英語講師)との活動:主に英語を聞いたり言ったりする活動を通じて、知識を得ると同時に、英語を使って外国の人とのコミュニケーションする経験を増やす。 		
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> ・やりとり・体験を中心に行い、対話、ゲーム、カード活動、歌、ICTなど、「英語がわかる・使える・楽しい」経験を重視する。 ・1回の活動のステップをシンプルにする。 ・英語は 短く・ゆっくり・はっきりと発音し、指示は、言葉(英語+必要に応じて日本語)、ジェスチャー、絵カード、モデル提示を組み合わせることで理解を支援する。 ・新しい語は、色、形、写真、実物、イラスト、動画などで、視覚的に提示する。 		

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する教育課程
教科等名	総合的な学習の時間	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	35 単位時間
年間指導目標	(知)進路や社会参加につながる知識・技能として活用する。 (思)自分の考えを根拠づけて表現し、より良い方法を判断できる。 (学) 社会の中で自分にできることを考え、積極的に参加しようとする。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教師: 濱元静波 山本康平 出口睦貴				
使用教科書	学校では教えてくれない大切なこと②友だち関係～自分と仲良く～(旺文社)				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	・自己紹介をしよう ・学習の目標を立てよう	3	○自分についてワークシートにまとめ、発表する。 ○1学期の学習内容を知り、目標を立てる。 ◆自分の言葉で、相手に伝わるように表現する。	(知)聞き手にわかりやすい声の大きさ、話し方を意識して発表する。 (思)自分の言葉で、相手に伝わるように表現する。 (主)友達の紹介に関心をもって聞くことができる。
	5	・選挙について知ろう	3	○選挙の仕組みを知り、投票箱に触れたりや投票を行うことで、雰囲気を知る。 ◆投票用紙の書き方や投票箱の使い方を知る。	(知)投票用紙の書き方や投票箱の使い方を知る。 (思)選挙について気づいたことを言葉で表現する。 (主)社会の一員として、選挙や投票に関心を持ち、参加しようとする。
	6	・学校生活のルールを知ろう	4	○学校内での廊下やスロープの歩き方を学ぶ。 ○集団での授業中のルールを学ぶ。 ◆授業のルールが必要を考えられる。	(知)学習したルールをロールプレイで実践する。 (思)なぜ授業のルールが必要なのか、その意味を考えることができる。 (主)ルールを守ろうとしたり、改善しようとする。
	7	・1学期まとめの会をしよう	3	○まとめの会の企画、係決め、準備を行う。 ○まとめの会を実施する。 ◆友達の意見を取り入れ企画できる。	(知)準備物と段取りを考え、実行する。 (思)友達の意見を取り入れ、企画する。 (主)準備の過程で気づいたことを活かし、より良い会にしようとして工夫しながら取り組む。
二 学 期	9	・学習の目標を立てよう ・災害時の対応について調べよう	3	○2学期の学習内容を知り、目標を立てる。 ○避難方法についてタブレット端末などで調べ学習を行い、ワークシートにまとめる。 ◆避難経路や避難場所の情報を収集することができる	(知)避難経路や避難場所の情報を収集することができる。 (思)様々な避難方法の中から、状況や場所に応じて適切な行動を考えることができる。 (主)友達と協力してワークシートにまとめようとする。
	10 前半	・災害時の対応について調べよう	1	○避難方法についてタブレット端末などで調べ学習を行い、ワークシートにまとめる。 ◆避難経路や避難場所の情報を収集することができる。	(知)避難経路や避難場所の情報を収集することができる。 (思)様々な避難方法の中から、状況や場所に応じて適切な行動を考えることができる。 (主)友達と協力してワークシートにまとめようとする。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	10 後 半	・災害時の対応について調べよう	1	○避難方法についてタブレット端末などで調べ学習を行い、模造紙にまとめる。 ◆避難経路や避難場所の情報を収集することができる。	(知) 避難経路や避難場所の情報を収集することができる。 (思) 様々な避難方法の中から、状況や場所に応じて適切な行動を考えることができる。 (主) 友達と協力してワークシートにまとめようとする。
	11	・2学期まとめの会をしよう	4	○まとめの会の企画、係決め、準備を行う。 ◆自分の意見を言葉で伝えることができる。	(知) 内容の決定方法(話し合い、多数決など)を理解し、実行する。 (思) 自分の意見を言葉で伝えることができる。 (主) 一員として、意欲的に準備に参加する。
	12	・2学期まとめの会をしよう	4	○まとめの会の企画、係決め、準備を行う。 ○まとめの会を実施する。 ◆友達の意見を取り入れ企画できる。	(知) 準備物と段取りを考え、実行する。 (思) 友達の意見を取り入れ、企画する。 (主) 準備の過程で気づいたことを活かし、より良い会にしようとして工夫しながら取り組む。
三 学 期	1	・3学期の目標を決めよう	3	○3学期の学習内容を知り、目標を立てる。 ◆自分の言葉で、相手に伝わるように表現できる。	(知) 聞き手にわかりやすい声の大きさ、話し方を意識して発表する。 (思) 自分の言葉で、相手に伝わるように表現する。 (主) 友達の紹介に関心をもって聞くことができる。
	2	・3学期まとめの会をしよう	3	○まとめの会の企画、係決め、準備を行う。 ◆自分の言葉で、相手に伝わるように表現できる。	(知) 内容の決定方法(話し合い、多数決など)を理解し、実行する。 (思) 自分の意見を言葉で伝えることができる。 (主) 一員として、意欲的に準備に参加する。
	3	・3学期まとめの会をしよう	4	○まとめの会の企画、係決め、準備を行う。 ○まとめの会を実施する。 ◆友達の意見を取り入れ企画できる。	(知) 準備物と段取りを考え、実行する。 (思) 友達の意見を取り入れ、企画する。 (主) 準備の過程で気づいたことを活かし、より良い会にしようとして工夫しながら取り組む。
そ の 他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・活動に見通しがもてるように、活動内容や流れを分かりやすく提示する。 ・視聴覚機器を使用し、イメージがもてるようにする。 ・各活動の中で個々の課題を設定し、達成感を感じられるように工夫する。 ・インターネットを利用できるように環境を整える。 ・写真や映像、成果物を活用し、学習内容を振り返る。 	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	1学年	教育課程名	
教科等名	特別活動	グループ名		年間授業時数	36 単位時間
年間指導目標	(知)集団活動をする上でのルールを意識し、友達や教職員と関わりを通して、コミュニケーション能力の向上を図る。				
	(思) 友達とともに活動することを楽しみを感じ、気持ちを表すことができる。				
	(学)ゲームを通して集団活動の楽しさを学び、様々な活動に主体的に参加する。				
	※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教師:山本 康平、中島 海美、飯田 景子、櫻井 泰子、飯田 拓、下川原 淑子 CG:平川 里栄、黛 誠子、永田 裕美				
使用教科書	(なし)				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	新入生歓迎会 (訪問)	5	○事前準備(自己紹介作成)、新入生歓迎会。 ◆歓迎会に落ち着いた気持ちで参加し、雰囲気を受け取る。中学部の一員としての意識をもつ。	(知) 自分なりの方法で発表する。 (思)好きなこと、得意なことに気付いたり、見つけたりする。 (主) 周囲の人に自分自分のことを発表しようとする。
	5	生徒会選挙 事前・事後学習	2	○生徒会選挙のことを知る。演説・応援の練習。 ◆生徒会選挙がどのように行われるかを知り、参加したり関心をもったりする。	(知) 自分の考えを伝えようとする。 (思) 生徒会の役割を知り、できることを考え、見つける。 (主) 立候補したり、応援しようとしたりする。
	6	集団ゲーム	5	○友達と協力したり物のやり取りをしたり、お互いを意識できるゲームを行う。 ◆友達を意識して自分から働きかけたり、友達からの働きかけに応えながらゲームを楽しむ。	(知)ゲームの進め方を知り、ルールを守って参加することができる。 (思) 友達の気持ちを意識したり、自分の気持ちを友達に伝えることができる。 (主) みんなと一緒にゲームを楽しもうとする。
	7	1学期まとめの会	2	○1学期の行事、学習の振り返り。 ◆1学期を振り返り、友達や自分の頑張ったことを思い出し、お互いに認め合う。	(知) スライドを見て、1学期の出来事を振り返る。 (思) 友達の頑張ったことに関心を向け、認める。 (主) 自分の頑張ったこと、気持ちを発表しようとする。
二 学 期	9	夏休みの思い出発表 集団ゲーム	3	○楽しかった思い出を発表する。 ◆自分の言葉で発表することができる。 ○鹿本中学校と的当てやボッチャ等の集団ゲームをする。 ◆ゲームに親しみ、みんなで協力して参加しようとする。	(知) 自分なりの投球方法で、ゲームに参加できる。 (思) 楽しかったことを思い出し、みんなの前で発表しようとする。 (主) 自らゲームに参加したり応援したりしようとする。
	10 前半	防災訓練 事前・事後学習	1	○防災訓練について見通しをもつ。 ○写真等を見て振り返り、学んだことを確認する。 ◆防災訓練に目標をもち、記憶に残る経験とする。	(知) 煙ハウス等の体験をし、非日常の生活を知り、考える。 (思) 防災訓練に参加し、体験して感じたことを言葉や表情で表す。 (主) 興味関心をもって、防災訓練に参加する。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	防災訓練 事前・事後学 習	1	○防災訓練について見通しをもつ。 ○写真等を見て振り返り、学んだことを確認する。 ◆防災訓練に目標をもち、記憶に残る経験とする。	(知)煙ハウス等の体験をし、非日常の生活を知り、考える。 (思)防災訓練に参加し、体験して感じたことを言葉や表情で表 す。 (主)興味関心をもって、防災訓練に参加する。
	11	虹輝祭事後学習 (訪問)	4	○虹輝祭で展示する作品の準備をしたり、舞台発表を鑑賞して、 感想を共有したりする。 ◆自分の作品制作に意欲的に取り組んだり、友達の作品舞台発 表に注目したりすることができる。	(知)自分の作品の良さ、頑張ったところを伝える。 (思)作品を観賞し、好きなもの、興味をもったところを発表する。 (主)舞台を観賞し、楽しんだり応援したりできる。
	12	望年会 2学期まとめの会	3	○集団ゲーム(学部集会) ◆自分に合った参加方法で、みんなと一緒にゲームを楽しむ。 ○2学期のふりかえり ◆写真を見て2学期を振り返り、頑張ったことを認め合う。	(知)自分なりの方法で、集団ゲームに参加できる。 (思)頑張ったことを言葉や表情等で発表できる。 (主)集団ゲームを楽しんだり、進んで発表しようとする。
三 学 期	1	新年会	3	○正月あそび(獅子舞など) ○新年の抱負 ◆友達や教職員と関わりながら、考えたり取り組んだりできる。	(知)正月遊びを友達と一緒に体験し、新年を意識する。 (思)自分なりの方法を工夫して遊びに取り組む。 (主)友達や教師と一緒に、自分から抱負を考えたり体験をしたりし ようとする。
	2	3年生を送る会に向けて	3	○3年生へのプレゼント作り、出し物の練習 ◆3年生の卒業を意識しながら、準備や練習に取り組む。	(知)3年生の卒業や、中学部1年の生活が終わることに見通しをも つ。 (思)3年生に感謝の気持ちをもちながら、作ったり練習したりする。 (主)制作や出し物練習を意欲的に行おうとする。
	3	3年生を送る会 3学期まとめの会 (訪問)	4	○3年生を送る会(学部集会) ◆3年生に感謝の気持ちを伝えることを意識して参加する。 ○1年間の振り返り ◆友達と1年間の振り返り、感想や思い出を共有する。	(知)1年間で頑張ったことを、自分なりの方法で発表できる。 (思)学年の友達とお互いの成長を認め合う。 (主)友達を意識しながら、1年間の思い出を振り返ったり、進級へ の期待感をもとうとする。
そ の 他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				・視覚的・聴覚的支援を併用し、理解しやすい提示を心がける ・支援方法を工夫し、主体的な動きを引き出す。 ・生徒同士のやりとりが生まれるよう、仲立ちの支援を行う。	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する教育課程
教科等名	自立活動	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	76 単位時間
年間指導目標	(知)自立に必要な技能を理解し、困難に応じた対処方法を身に付ける。				
	(思)困りごとの原因を考え、適切な行動や支援の求め方を判断しようとする。				
担当教職員	(学)困難の改善に向けて主体的に取り組み、自立しようとする姿勢が見られる。				
	※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
使用教科書	なし				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	(通年) 個に応じた課題の取り組み	7	(通年) ○睡眠・食事・休息・運動など、基本的な生活リズムを整える。	(知) 生活リズムや健康的な習慣を理解する。 (思) 自分の生活をよりよくするための方法を考え、行動を調整しようとする。
	5	健康の保持	7	○身支度や身の回りのことを自分で行う習慣を身に付ける。	(主) 規則正しい生活をしようとする姿勢が見られる。
	6	人間関係の形成	9	○毎日の活動の流れを理解し、安定した生活を送る。 ○落ち着くための方法、気持ちの切り替えの方法を理解する。	(知) 自分の気持ちや状態を知り、落ち着くための方法(深呼吸・姿勢調整など)を理解する。 (思) 気持ちが不安定なときに、どのように対処すればよいかを考え、助言を受けて行動を調整しようとする。
	7	コミュニケーション	4	◆ 自分の生活をよりよくするための方法を考え、行動を調整しようとする。	(主) 難を改善しようとする主体的に取り組む姿勢が見られ、自立に向けた意欲が育つ。
二学期	9	心理的安定	8	○自己の理解と行動 ○他者との関わり	(知) 自分の気持ちや行動の特徴を理解し、適切な表し方を学ぶ。 (思) 相手の気持ちや意図を考え、活動の中で適切な行動を選ぼうとする。
	10前半		4	◆ 自分の気持ちや状態を知り、落ち着くための方法(深呼吸・姿勢調整など)を理解する。	(主) 自分の行動を振り返り、よりよい関わり方を身に付けようとする姿が見られる。
					(知) 視覚・聴覚・触覚など、自分が使える感覚の働きを知り、周囲の状況を確認しようとする。 (思) どの感覚を使えば状況が分かりやすいかを考え、活動の中で使い分けようとする。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	10 後 半	身体の動き 環境の把握 個別課題	3	○筋の拘縮、変形、予防動作の習得のための筋緊張への弛緩 ○補装具や車いす等の活用や移動技術の習得 ○ストレッチ、ブリッジ、寝返り、よつばい、膝立ち、立ち直り、立ち上がり、立位、歩行など ◆身体の活動に意欲的に取り組み、できる動作を増やそうとする姿勢が見られる。 ○相手を意識し、視線を向ける・振り向くなどの初歩的な反応を育てる。 ○あいさつ、返事、呼ばれた時の応答など、基本的な関わりを身に付ける。 ◆基本的な関わり方を理解し、反応の仕方を学ぶ。 ○視覚・聴覚・触覚など、自分が使える感覚を通して周囲の状況を捉える。 ○複数の感覚を合わせて状況を判断する。 ○実態に沿った課題の解決 ◆自分の感覚・認知の特性とその対応方法を理解する。	(知) 身体の使い方や基本的な動作の方法を理解し、支援を受けて実践できる。 (思) 目的に合わせてどのように身体を動かすかを考え、助言に応じて動きを調整しようとする。 (主) 身体の活動に意欲的に取り組み、できる動作を増やそうとする姿勢が見られる。
	11		7		
	12		7		
三 学 期	1	5	(知) 基本的な関わり方を理解し、反応の仕方を学ぶ。 (思) 相手に注意を向け、関わろうとする行動を選ぶ。 (主) 他者とやり取りしようとする姿勢が育つ。 (知) 自分の感覚・認知の特性とその対応方法を理解する。 (思) 状況に応じて特性に合った行動を判断し、工夫しようとする。 (主) 感覚を使って周囲を理解しようとする姿勢が見られる。		
	2	9			
	3	6			
そ の 他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・校医（整形外科）、外部専門員と連携を図り、継続的に取り組めるようにする。 ・歩行器等の教具を使用する。 ・鏡を活用し、姿勢を確認できるようにする。 ・手指の巧緻性を高めるために、タブレット端末やパズル等の教材を使用する。 	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	1学年	教育課程名	
教科等名	日常生活の指導	グループ名		年間授業時数	175 単位時間
年間指導目標	(知)食事や教室環境に関する衛生マナーの習慣を身に付け、自分でできることを増やそうとする。 (思)身近自立に向けて取り組み、支援が必要な時には依頼の仕方を考えて伝えることができる。 (学)係活動に意欲的に取り組んだり、日常生活動作に積極的に取り組んだりしようとしている。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教師:山本 康平、中島 海美、飯田 景子、櫻井 泰子、飯田 拓、下川原 淑子 CG:平川 里栄、黛 誠子、永田 裕美				
使用教科書	(なし)				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	自分から挨拶しよう	16	○日常的なマナー(挨拶など) ◆相手の顔を見て、発声や身振りで挨拶をする ◆身近な教師に自分からコミュニケーションをとろうとする	(知)相手の存在に気付き、相手の顔を見る、発声や身振りをを用いるなど、自分に合った方法で挨拶を行うことができる。 (思)自分の気持ちや要求を、自分なりの方法で表現できる。 (主)教師の支援を受け、自分から伝える意欲をもって活動に参加する。
	5	見通しをもって活動しよう	18	○日常生活動作の指導(協力動作など) ◆安全な食事の仕方を学ぶ ◆おむつ替えや着替え、トイレの際に協力動作をする	(知)教師の支援を受けながら、自分に合った方法で安全な食事動作や協力動作を行うことができる。 (思)介助者の働きかけに応じて、身体を動かそうとする。 (主)着替え、トイレの際に、自分なりに協力しようとする。
	6	身だしなみ 場面に応じたマナー 時間を考えた行動と準備	22	○持ち物やマナーの自己管理 ◆時間を意識し、自分の持ち物を確認し、適切に管理する。	(知)自分の持ち物を適切に管理する。 (思)衛生や身だしなみを考え、持ち物や服装を工夫する。
	7	健康を意識しよう	12	○健康管理の指導(水分補給など) ◆健康に留意する	(知)教師の支援を受け、自分に合った方法で水分補給などの健康管理に取り組むことができる。 (思)表情、視線、発声、身振り等で、体調や要求を伝える。 (主)水分補給や休息の場面で、安心して取り組もうとする。
二 学 期	9	係活動をしよう	17	○係活動など ◆係仕事を積極的に行う ◆学校生活の見通しをもち、主体的に活動する	(知)係の内容や手順を理解し、自分に合った方法で係仕事を行う。 (思)見通しをもって行動できるよう、教師の言葉掛けや提示に応じて活動できる。 (主)自分から活動に取り組もうとする。
	10 前半		10		

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
二期 期	10 後半	自分から挨拶しよう	10	○日常的なマナー（挨拶など） ◆相手の顔を見て、発声や身振りで挨拶をする ◆身近な教師に自分からコミュニケーションをとろうとする	(知)相手の存在に気付き、相手の顔を見る、発声や身振りをを用いるなど、自分に合った方法で挨拶を行うことができる。 (思)自分の気持ちや要求を、自分なりの方法で表現できる。 (主)教師の支援を受け、自分から伝える意欲をもって活動に参加する。
	11	見通しをもって活動しよう	16	○日常生活動作の指導（協力動作など） ◆安全な食事の仕方を学ぶ ◆おむつ替えや着替え、トイレの際に協力動作をする	(知)教師の支援を受けながら、自分に合った方法で安全な食事動作や協力動作を行うことができる。 (思)介助者の働きかけに応じて、身体を動かそうとする。 (主)着替え、トイレの際に、自分なりに協力しようとする。
	12	身だしなみ 場面に応じたマナー 時間を考えた行動と準備	18	○持ち物やマナーの自己管理 ◆時間を意識し、自分の持ち物を確認し、適切に管理する。	(知)自分の持ち物を適切に管理する。 (思)衛生や身だしなみを考え、持ち物や服装を工夫する。
三期 期	1	健康を意識しよう	13	○健康管理の指導（水分補給など） ◆健康に留意する	(知)教師の支援を受け、自分に合った方法で水分補給などの健康管理に取り組むことができる。 (思)表情、視線、発声、身振り等で、体調や要求を伝える。 (主)水分補給や休息の場面で、安心して取り組もうとする。
	2	係活動をしよう	17	○係活動など ◆係仕事を積極的に行う ◆学校生活の見通しをもち、主体的に活動する	(知)係の内容や手順を理解し、自分に合った方法で係仕事を行う。 (思)見通しをもって行動できるよう、教師の言葉掛けや提示に応じて活動できる。 (主)自分から活動に取り組もうとする。
	3		17		
その他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の指導を、自立活動（身体の動き・健康の保持・コミュニケーション等）と関連付けて実施する。 ・生徒一人一人の身体機能・認知特性・生活経験に応じて、目標や支援方法を設定する。 ・生活の中で同じ手順を繰り返すことで、見通しをもち落ち着いて取り組めるように支援する。 		

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する教育課程
教科等名	生活単元学習	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	147 単位時間
年間指導目標	(知) 身近な社会や自然に関心を持ち、理科・社会の学習や体験を通して知識を広げる。				
	(思) 自立的な生活に向けて自身に必要な基礎的な能力と態度を考え、身に付ける。				
	(学) 学校生活や日常に関わる学習へ主体的に取り組み、具体的な経験を積み重ねる。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教師:出口 陸貴 山本 康平 CG:曾根 浩美				
使用教科書	世界の国旗カード1週(くもん出版)、科学シリーズ地球(福音館)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標(評価の観点)
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	新しい生活の準備をしよう (訪問)	11	○自己紹介、時間割、日直表の作成 ◆新しい環境に慣れ、自分の課題を確認する。	(知) 新しい環境に慣れ、自分の課題を確認する。 (思) はさみやのりなど様々な教材を工夫して使用する。 (主) 周囲の友だちや教師と協力する。
	5	作物を育てよう	12	○栽培 ◆植物の変化に気づき、必要な行動を考え、自分なりの方法で表す。	(知) 生長経過を知る。 (思) 植物の変化に気づき、必要な行動を考え、自分なりの方法で表す。 (主) 植物を大切に、協力しながら継続して栽培に参加しようとする。
	6	作物を育てよう	18	○栽培、収穫 ◆植物の変化や収穫の時期を理解する。	(知) 収穫の仕方を知り、支援や道具を使って基本的な作業に取り組む。 (思) 植物の変化や収穫の時期に気づき、必要な行動を考えて表す。 (主) 植物を大切に、収穫の喜びを感じながら、協力して活動に継続して取り組む。
	7	作物を育てよう	10	○栽培、収穫 ○収穫物の販売経営 ◆販売の流れを知る	(知) 販売の流れを知り、支援を受けて簡単な作業に取り組む。 (思) 収穫物の様子を見て、次にすることを考えて伝える (主) 協力して販売に参加し、できたことを喜んで続けて取り組む。
二 学 期	9	社会見学へ行こう	18	○社会見学の事前学習。 ◆見学の場所・時間・内容を理解する。	(知) 見学の場所・時間・内容を知り、当日の流れを理解する。 (思) 見学に必要な行動を考えて、言葉や動作で表す。 (主) 見学に向けて準備し、協力して参加しようとする。
	10 前半	社会見学へ行こう	7	○社会見学の事前・事後学習。 ◆見学して分かったことを振り返り、学んだ内容を確認する。	(知) 見学して分かったことを振り返り、学んだ内容を確認する。 (思) 見学で気づいたことを思い出し、自分なりに考えたことを言葉や動作で表す。 (主) 見学の経験を今後の学習生かそうとする姿勢をもつ。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	10 後 半	日本の伝統行事を知ろう	20	○日本の伝統行事、風習 ◆日本の伝統行事や風習について、名前や内容を知る。	(知) 日本の伝統行事や風習について、名前や内容を知る。 (思) 調べて分かったことを自分の言葉でまとめる。 (主) 日本の行事に関心を持ち、学んだことを生活に生かそうとする。
	11				
	12	世界の国々 (訪問)	16	○世界の国々の食べ物、気候、風習について調べる ◆調べて分かった違いに気づき、自分なりにまとめて表す。	(知) 世界の国々の食べ物・気候・風習と日本の違いを知る。 (思) 調べて分かった違いに気づき、自分なりにまとめて表す。 (主) 世界の国に関心を持ち、学んだことを生活や学習に生かそうとする。
三 学 期	1	カレンダーを作ろう	9	○カレンダーを作ろう ◆カレンダーの作成方法を理解する。	(知) カレンダーの作成方法を理解する。 (思) プリンターやカッターの使い方の手順書を読み、正しい作成方法を判断できる。 (主) 友だちや教師と協力し、楽しんで作業に取り組もうとする。
	2	感謝の気持ちを伝えよう (訪問)	23	○プレゼントの作成 ◆プレゼント作りの目的と手順を知る。 ○3年生を送る会の準備 ◆協力して、相手を喜ばせたい気持ちをもつ。	(知) プレゼント作りの目的と手順を知り、必要な材料を理解する。 (思) 渡す相手のことを考え、自分なりの工夫を表す。 (主) 協力して、相手を喜ばせたい気持ちをもって参加する。
	3				
そ の 他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> ・個別に課題を設定し取り組めるようにする。 ・安全に道具を使えるように指導する。 ・場合によって手書きとICT機器を使い分けて指導する。 ・生徒が進んで意見を出しやすい雰囲気作りをする。 		

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する教育課程
教科等名	作業	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	73 単位時間
年間指導目標	(知) 作業に応じた技術や職業に関する理解を深め、日常生活でも活用できる力を身に付ける。				
	(思) 作業工程や個々の課題に気づき、解決策を考えて工夫し、活動を振り返る力を育てる。				
年間指導目標	(学) 計画的に継続して行うことで仲間と協力し、安全への配慮や作業工程の主体性や達成感を得る。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教師: 中島海美 山本康平 出口睦貴				
使用教科書	(なし)				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	作業のルール① 名刺作り	8	○作業学習のルールを学ぶ。(身支度・準備) ○作業工程に見通しをもつ。 ○データ入力 ◆作業の基本的なルールを身に付ける。	(知) 身支度、作業の準備の流れを知る。 (思) 課題に対して自分なりの方法を選んで取り組むことができる。 (主) 作業に興味をもち、意欲をもって取り組むことができる。
	5	名刺作り	22	○データ入力 ○印刷 ◆作業の基本的なルールを身に付ける ◆ルールと流れを理解し、見通しをもって取り組む	(知) 名刺作りの手順や方法、道具の使い方を理解して取り組むことができる。 (思) 作業工程の課題を見つけ、解決方法を考えながら取り組むことができる。 (主) 仲間と協力し、目標に向けて意欲的に取り組むことができる。
	6				
	7				
二 学 期	9	作業のルール② クリアファイル作り	8	○作業学習のルールを学ぶ。(挨拶) ○作業工程に見通しをもつ。 ○クリアファイルデザイン作成 ◆ルールと流れを理解し、見通しをもって取り組む。	(知) 丁寧な言葉遣いや挨拶を身に付ける。 (思) 課題に対して自分なりの方法を選んで取り組むことができる。 (主) 作業に興味をもち、意欲をもって取り組むことができる。
	10 前半	クリアファイル作り	1	○作業工程に見通しをもつ。 ○ラミネート、裁断機、角丸作業等 ◆道具を適切に扱って作業に取り組む。 ◆ルールと流れを理解し、見通しをもって取り組む。	(知) クリアファイル作りの手順を知り、道具の使い方を理解して取り組むことができる。 (思) 作業工程の課題を見つけ、解決方法を考えながら取り組むことができる。 (主) 仲間と協力して分業し、主体的に製品をつくる経験を積む。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	10 後 半	クリアファイル作り	17	○作業工程に見通しをもつ。 ○ラミネート、裁断機、角丸作業等 ◆道具を適切に扱って作業に取り組む。 ◆ルールと流れを理解し、見通しをもって取り組む。	(知)クリアファイル作りの手順を知り、道具の使い方を理解して取り組むことができる。 (思)作業工程の課題を見つけ、解決方法を考えながら取り組むことができる。 (主)仲間と協力して分業し、主体的に製品を作る経験を積む。
	11				
	12				
三 学 期	1	作業のルール③ メモ帳作り	6	○作業学習のルールを学ぶ。(報告・連絡・相談) ○作業工程に見通しをもつ。 ○裁断、糊付け等 ◆ルールと流れを理解し、見通しをもって取り組む。	(知)報告、連絡、相談の仕方を知る。 (思)課題に対して自分なりの方法を選んで取り組むことができる。 (主)作業に興味をもち、意欲をもって取り組むことができる。
	2	メモ帳作り	11	○作業工程に見通しをもつ。 ○裁断、糊付け等 ◆役割を意識して取り組む。 ◆ルールと流れを理解し、見通しをもって取り組む。	(知)メモ帳作りの手順を知り、道具の使い方を理解して取り組むことができる。 (思)作業工程の課題を見つけ、解決方法を考えながら取り組むことができる。 (主)継続的に作業に取り組む姿勢や集中力、達成感、責任感など、働く態度や意欲を身に付ける。
	3				
そ の 他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				・使用する用具や材料の大きさ、重さ、形状、材質、など生徒が安全に扱えるものを使用する。 ・担当する工程を一定にしたり、変化を付けたりする。 ・個別に行う作業と友達と協力する作業と分け、それぞれに合わせた作業環境を作る。 ・挨拶の言葉、依頼の言葉、感謝の言葉を、場に応じて、自分から、使い分けることができるように、具体例を示す。	